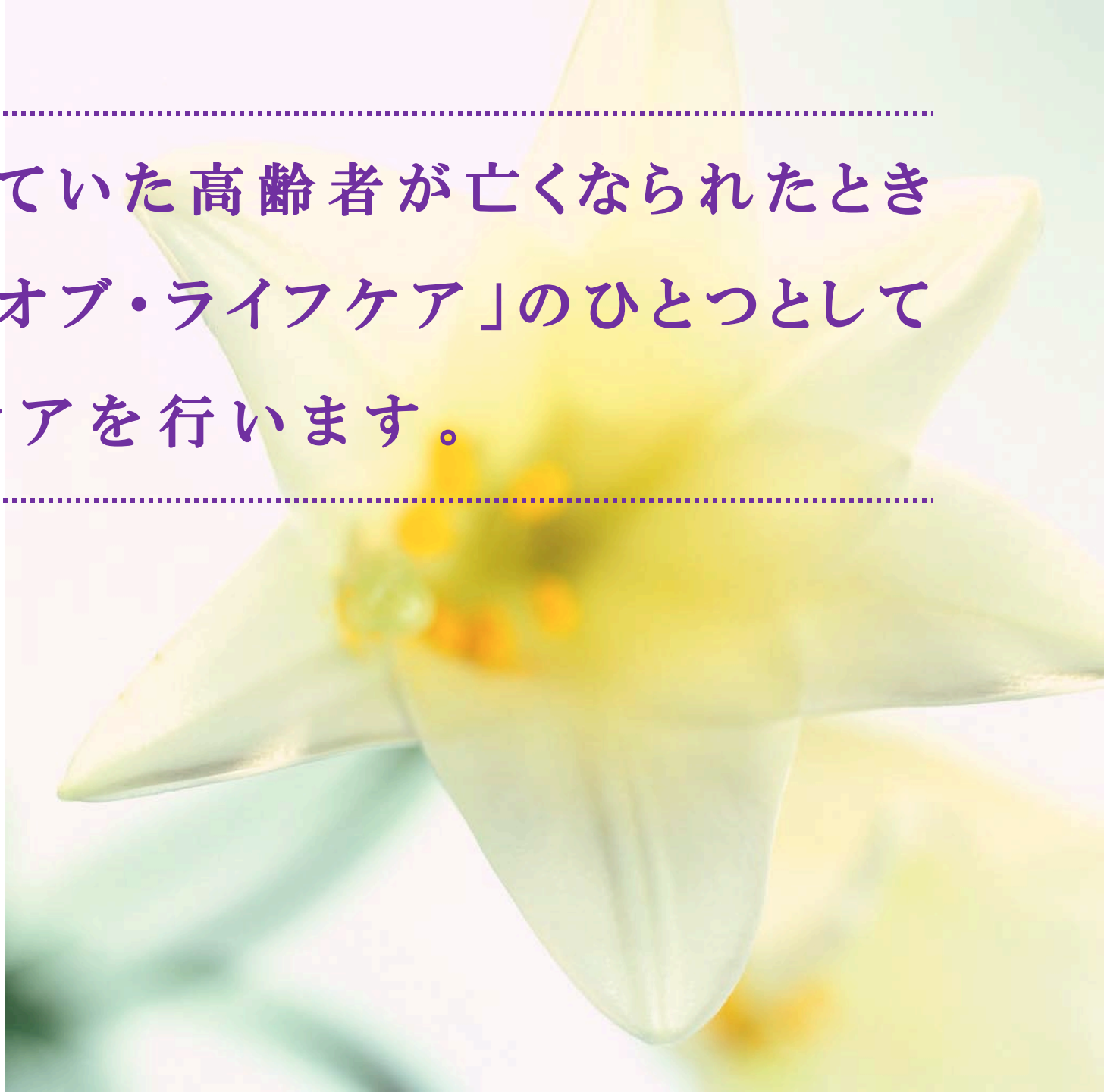




死後のケア (死後の処置)

財団法人コスメトロジー研究振興財団の平成21年度第20回研究助成金の一部を用いて製作しました。

入居されていた高齢者が亡くなられたとき
「エンド・オブ・ライフケア」のひとつとして
死後のケアを行います。

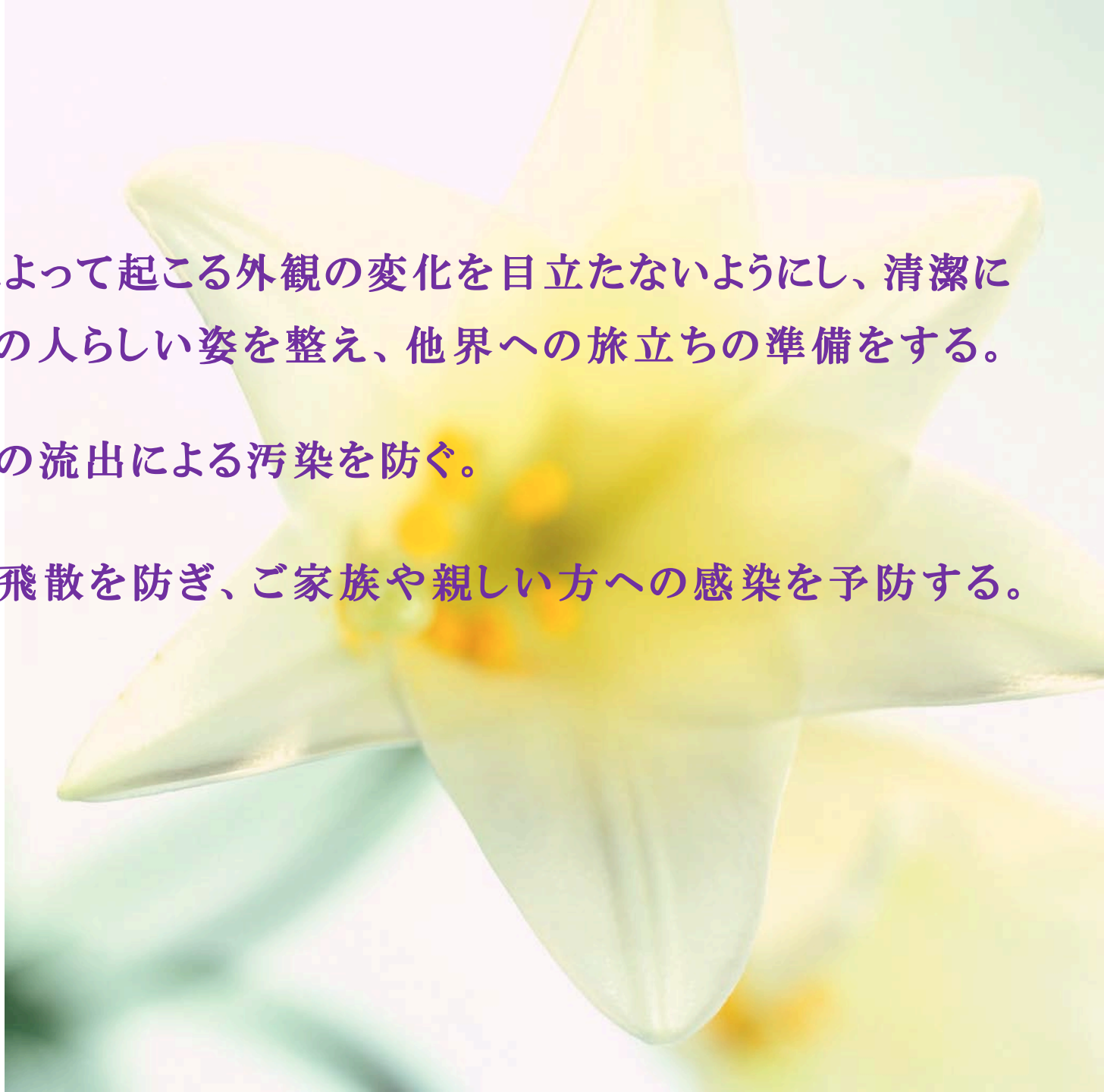


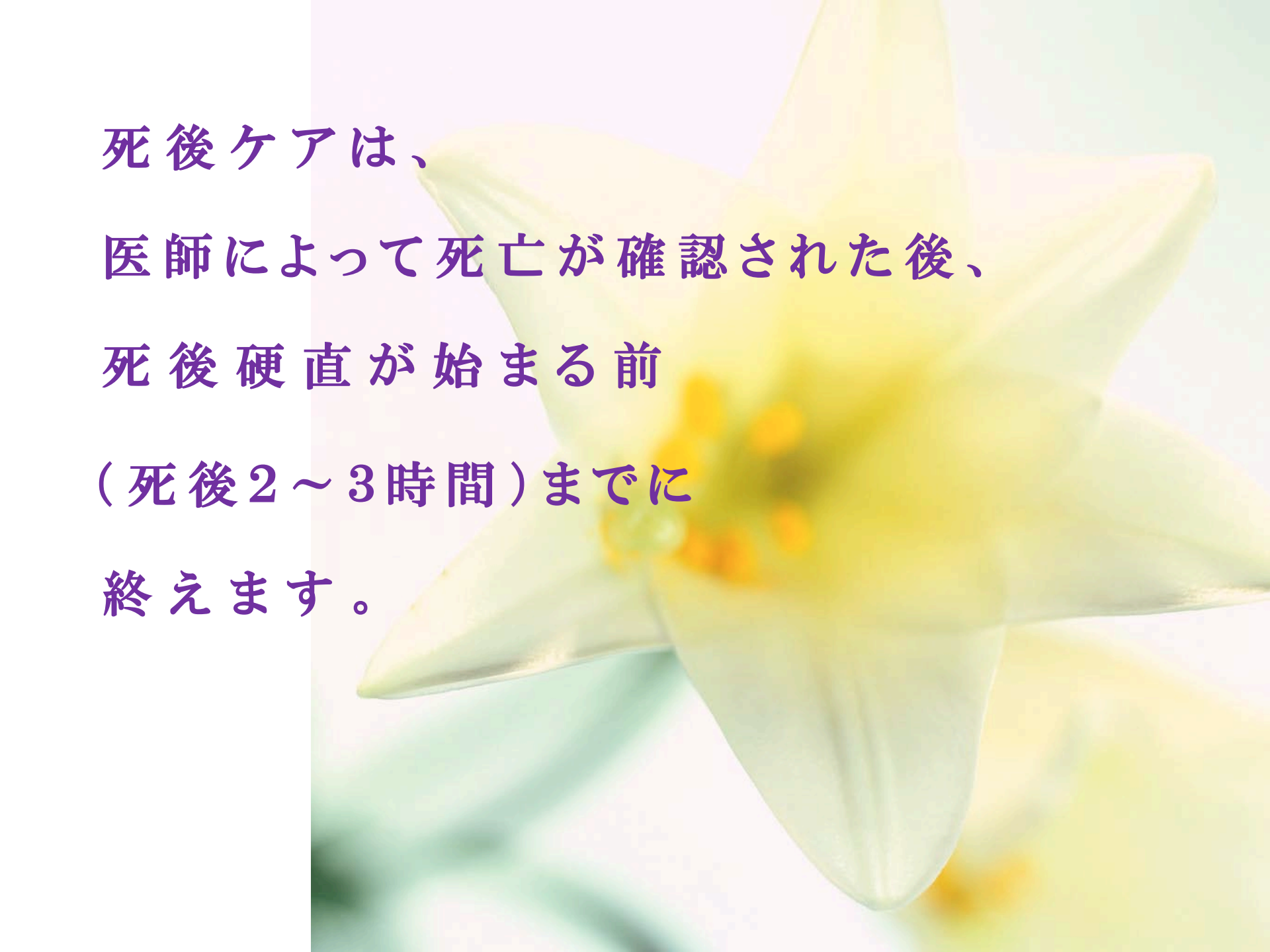
目的は、

ご遺体を、死によって起こる外観の変化を目立たないようにし、清潔に美しく保ち、その人らしい姿を整え、他界への旅立ちの準備をする。

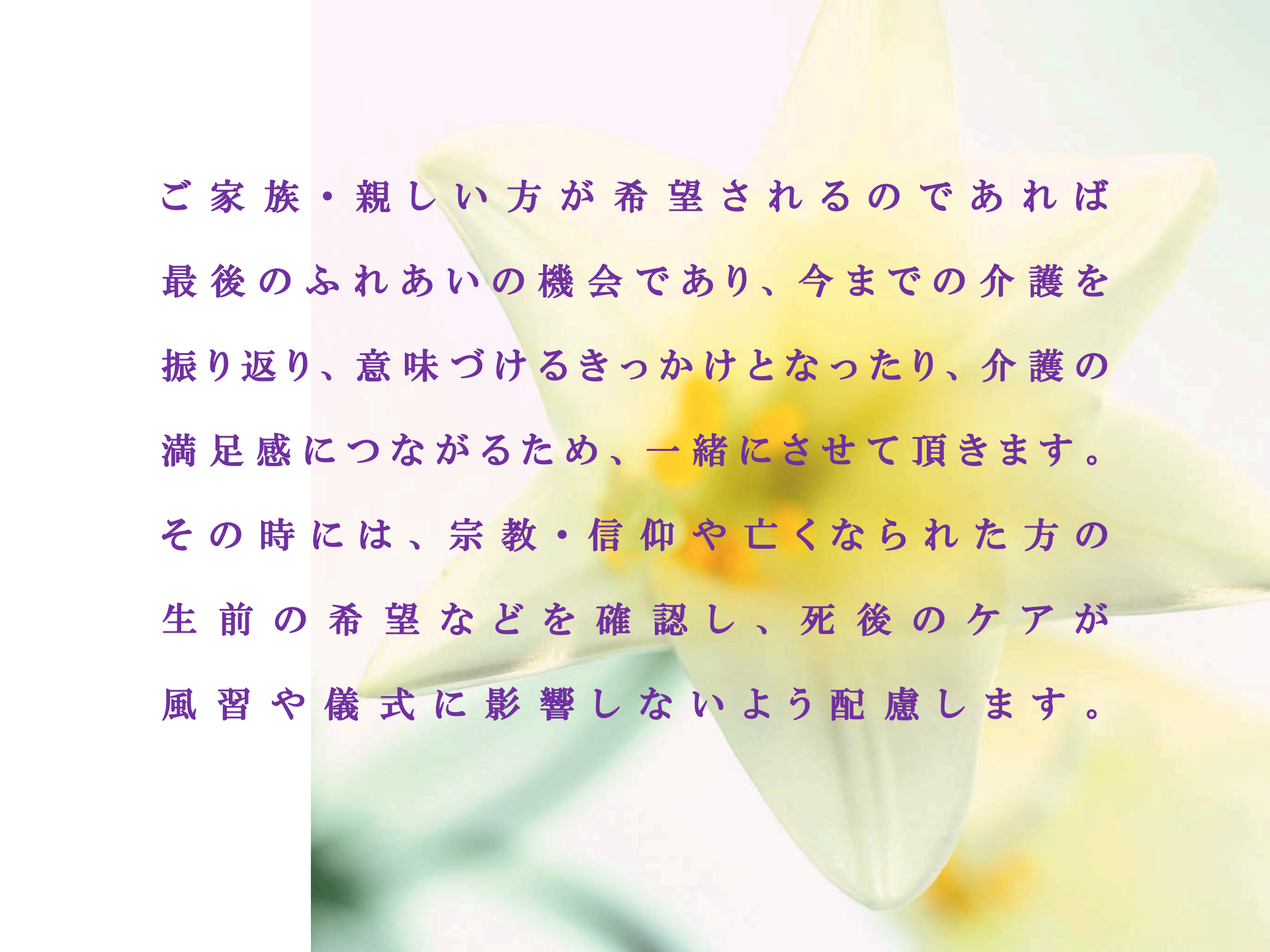
体液や排泄物の流出による汚染を防ぐ。

病原微生物の飛散を防ぎ、ご家族や親しい方への感染を予防する。





死後ケアは、
医師によって死亡が確認された後、
死後硬直が始まる前
(死後2～3時間)までに
終わります。



ご家族・親しい方が希望されるのであれば
最後のふれあいの機会であり、今までの介護を
振り返り、意味づけるきっかけとなったり、介護の
満足感につながるため、一緒にさせていただきます。
その時には、宗教・信仰や亡くなられた方の
生前の希望などを確認し、死後のケアが
風習や儀式に影響しないよう配慮します。

必要物品

病院ではエンゼルセット(死後処置セット)として、 以下の物品が揃えられています。

ガウン、マスク、手袋

清拭用具(タオル2・3本、微温湯、バケツまたは微温湯で絞ったタオル2・3本)

美容用具(くし、ヘアブラシ、爪切り、電気髭剃り など)

歯ブラシ、口腔ケア用のポンジやガーゼ、脱脂綿、青梅綿、ガーゼ、綿棒

ピンセット(または割りばし)、絆創膏、膿盆、便器、紙おむつ

白い布(30cm四方)、着衣(本人や家族の希望のものをあらかじめ

準備しておいてもらう。ヘアピース(かつら)や髪飾りなども。)

エンゼルケアキット(必要物品がひとまとめに揃えられたもの)も販売されています。

このようなセットを用意しておく、急なケアの時にもあわてなくて済むでしょう。

死後のケアを始める前に

医師により死亡確認が行われたあと、ご遺体と親しい方とでお別れの時間を過ごして頂きます。

死後のケアにあたり、ご遺体の着衣や宗教上の配慮などを家族に確認し、着衣や身に着けられるものをお預かりします。

家族や親しい方に、死後のケアを一緒にされるか確認します。
死後のケアに参加することには、個々人に様々な考え方や思いがありますので、決して無理強いはしないようにしましょう。

死後のケアを始めます

まず、

感染予防のマスク、ガウン、手袋を着用します。
これから最期のケアをさせて頂く気持ちを、
合掌で伝えます。

ご家族の希望で、
死後のケアと一緒にさせて頂く場合にも、
感染予防の視点から、マスクなどを
着用してもらうことが望ましいでしょう。



ご遺体につけられたものを取り外し、
ご遺体の外観を整える準備をします。

医療器具(心電図モニター、エアウェイ)、
チューブ類(酸素マスクや経鼻カニューレ、点滴ルート)を取り外します。

ペースメーカーを挿入されているご遺体の場合は、
医師により抜去・縫合の必要がありますので、事前に確認しておきます。

傷や点滴の後を、絆創膏でカバーします。

体内の内容物を排出します

最初に、

亡くなられた後、筋肉が弛緩して体内の内容物が体外に出やすくなります。その時にご遺体やベッドが汚れることがありますので、それを防ぎます。



次に、

体を、右側を下にして口を開いてから、膿盆を頬にあて、心窩部を押して、胃の内容物を出します。



尿の排出は、

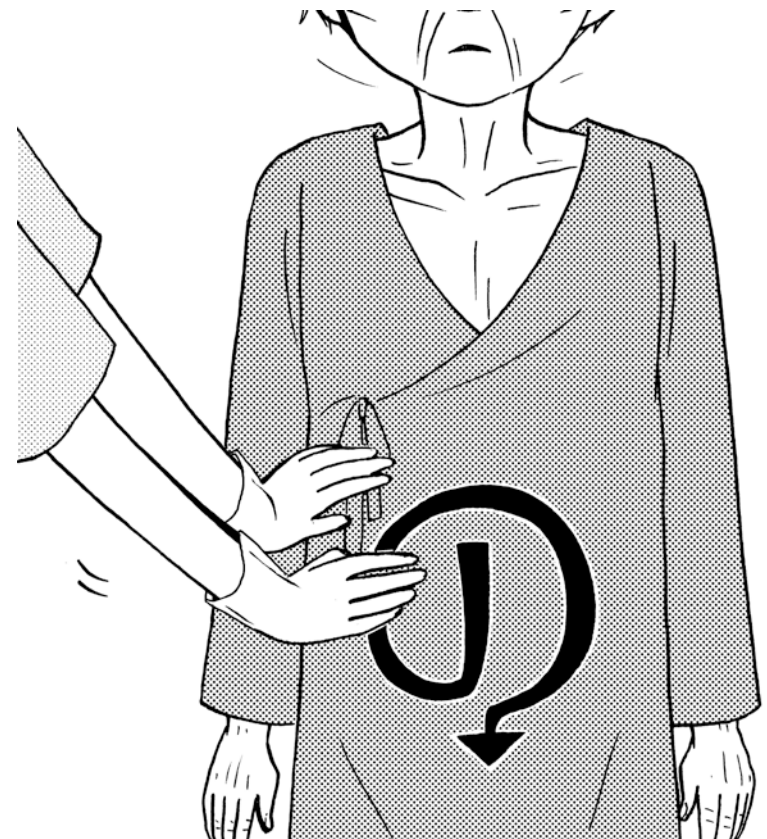
便器、紙おむつをあて、体を仰向きにします。

下腹の陰部に近い骨(恥骨といいます)を押すことで膀胱が圧迫され、膀胱内に残った尿を排出します。

最後に、

腹部を「の」の字を描くように圧迫して、腸に残っている便を排出します。

体は、左側を下にし、腹部を押しながら直腸内の便を排出します。



ご遺体を美しく整え
分泌物を防ぎます

まず、

清拭タオルで顔を拭き、眼脂を取り除いたのち、目を閉じます。

目が閉じにくい場合には、ティッシュペーパーを1cm角にカットし、眼球の上に乗せたあと、瞼をあわせます。または、二重瞼用接着剤を瞼の内側に薄く塗り、瞼をあわせることもできます。

そして、

口腔からの異臭を防ぐために、ガーゼや歯ブラシ、スポンジなどを使って口腔清拭をします。舌の上も丁寧に拭き、最後は口腔内に残った水分をしっかりと拭きます。唇の乾燥が気になる時には、リップクリームやワセリンを塗ります。顎は死後硬直が最初に現れますので、口腔ケアの後、早めに義歯を入れます。

次に、

頭髪の汚れが気になる場合は、ドライシャンプーや洗髪をして整髪します。
全身を両手→胸腹部→足→背部→陰部の順に清拭します。

それから、

体内の分泌物が体外に出ないように栓をするために詰め物をします。
鼻→口→耳→膣→肛門の順に、割り箸またはピンセットを使って、綿を詰めていきます。割り箸を使う場合には皮膚や粘膜を傷つけやすいので特に注意して行います。脱脂綿は水分を吸い、青梅綿は油をはじく性質があるので、詰めるときには脱脂綿→青梅綿という順番で詰めるとういでしょう。脱脂綿が無い場合、青梅綿だけでも不足はないでしょう。

鼻は、

鼻の先端を少し持ち上げて、綿が鼻腔の奥から喉に向かうように詰めていきます。鼻腔まで詰めると、分泌物の状態によっては小鼻が開いたり、綿が顔からはみ出して容貌が変わり、外観を損ねる場合があります。

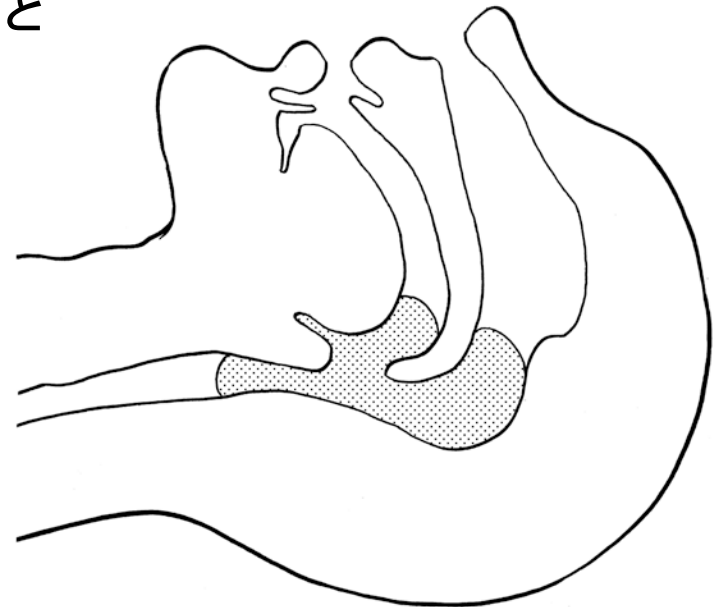
綿を詰めていて鼻の付け根が膨らんで見えたり、鼻の穴から綿が見えるようであれば詰め過ぎの状態ですので、時々詰め過ぎではないか注意して見ながら行います。

耳の方は、

浸出液、出血の可能性がある場合に脱脂綿を軽く詰めます。

口は、

舌を巻きこまないように指で押さえながら、綿を詰めます。綿の量や気道の太さにもよりますが、おおよそ20cm程の綿を詰めていくと、喉の奥の方まで詰めることができます。舌の付け根から綿が見えるようでしたら、詰め過ぎの状態といえるでしょう。ご遺体がやせ過ぎで、生前のイメージからかけ離れてしまっている時には、口角の内側に少し綿をいれて頬に膨らみを出すこともできます。しかし、入れ過ぎると生前の容貌を損なうので注意して、容貌の変化を見ながら慎重に行います。

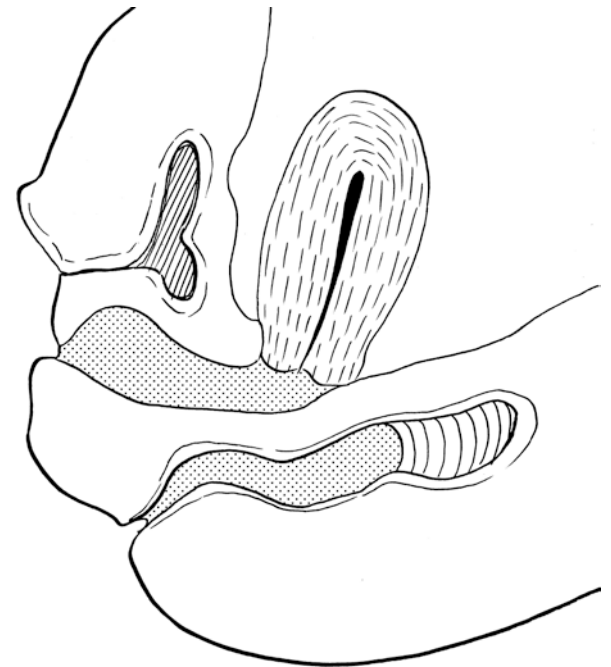


肛門は、

体の左側をして綿を詰めていきます。綿の量や直腸の大きさによりますが、綿を20cmほど詰めると肛門から直腸を塞いでいる状態になるでしょう。

女性の場合は、

体を仰向きにして綿を詰めていきます。
7cmほど綿を詰めると膣を塞いでいる状態になるでしょう。ここでしっかり詰めておくと、尿道を圧迫するので、尿道に詰める必要がなくなります。



下着は、

紙おむつまたは尿パットとT字帯をあてます。ご家族によっては普通の下着の着用を希望される場合もあるでしょう。綿を詰めていますので分泌物が体外に出る心配は考えなくてもよいのですが、念のためパットをあてておくと安心でしょう。

髭そり、爪切りも

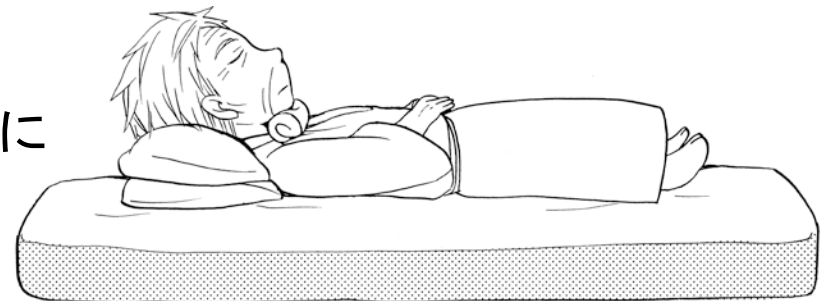
髭剃り、手足の爪切りを行います。髭剃りは、電気カミソリや二枚刃の剃刀を用いた方が、皮膚の状態を美しく保てます。

最後に、

衣服を着せます。和式の場合、襟を左前に合わせ、紐を、女性へその高さ、男性は腰骨の高さで縦結びにします。死に化粧をし、生前の姿に近づけます。



体を自然な形に整え、両手をお腹の上に重ねます。
口が開いてしまう場合は
早めに枕を高くして、
丸めたタオルをあごの下に
入れておきます。



口が開かなくなってからタオルをはずします。



お別れをしていただきます

白い布を顔にかぶせます。

末期の水を準備し、家族や親しい人に行ってもらいます。

参考文献

日野原重明他(1993), 系統看護学講座 専門基礎2 解剖生理学, 医学書院, 第4版第9刷

藤原和子(2007), これでわかった看取りのケアQ&A, 月刊ナーシング, 27巻3号, 5-14

深井喜代子編(2009), 新体系看護学全書 第12巻 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ, メヂカルフレンド社, 第1版, 185-190

井上幸子, 平山朝子, 金子道子編(1999), 看護学体系 第8巻 看護の方法3, 日本看護協会出版会, 第3版, 235-236

板垣知佳子(2001), 臨終後処置の基本技術 後輩に伝えたい, 看護学雑誌, 65号2巻, 122-127

小林光恵編著(2006), ケアとしての死に化粧 エンゼルメイク研究会からの提案, 日本看護協会出版会, 第1版第3刷

志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕, 金壽子編(2007), ナーシンググラフィカ⑱ 基礎看護学-基礎看護技術, メディカ出版, 初版, 445-448

杉野佳江編(2003), 標準看護学講座13巻 基礎看護学2, 金原出版, 第5版, 423-425

薄井坦子他(2002), 系統看護学講座 専門2 基礎看護学2, 医学書院, 第13版, 335-336